大阪朝日新聞 本紙夕刊共十二頁

飛電至る毎に東京の災害は凄愴を極む

食糧の輸送を求める急電頻々

東京横濱方面の慘害は一報毎は激甚を加ふ、而して第一に困難しつゝあるは糧食と飲料水の缺乏である、當局は全國に飛電し或は飛行機を飛ばして大量の飲食物急送方を要求してゐる慘害は今更何とも致方なし、今は只多數民人の朝夕に迫れる生命を維持することに努力を要するのみである

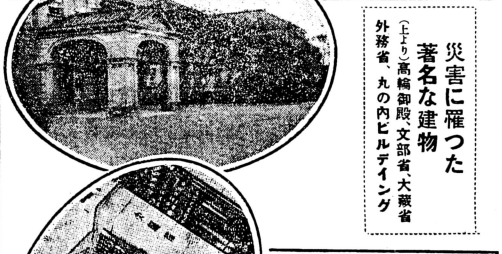
帝都に戒嚴令

二日東京全市に戒嚴令布かれ、何人にも一歩も東京に入らしめず食料品を携帶せるものゝみ入京せしめてゐる(松本電話)(レーテスト・ニュース再錄)

海上ビルデング倒壞し一萬人行方不明となる

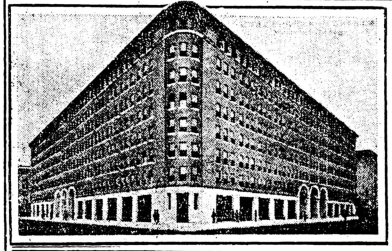
東京海上ビルデング倒壞の爲め行方不明者一萬人あり東京驛前は四五の建物を殘せるのみにて他は全滅した模樣である、無無地獄の如き東京から九死に一生を拾ひ二日午後一時半横濱驛の列車で逃避して來た某氏談市本所區横川町の大阪紡績なる數棟は全部焼ける

全部が火の海と化したのは一日午後一時ごろ死傷者に於ては東京市内で聞されて居るのは三萬人程と見られて居る、震動は上下動で一時に來た樣に感じめたものであり本所區の如きは家屋倒潰しなり惨絶



災害に罹つた著名な建物

(上より)高輪御殿、文部省、大藏省外務省、丸の内ビルディング



山本伯狙はる

數名の暴漢現はれて

[illegible]なる餘につき警戒するところに後れは山本伯は一日午後二時附近の觀兵式を終り水交社に引揚げたが三時頃數名の暴漢現はれ伯を殺害せんとしたるに伯は大いに驚き巧みに難を避けたるいよ〻厳戒がある(松本電話)

陸軍大臣の命令を

飛行機で齎らした

大阪着の波多野中尉

所澤を二日午前八時出發した所澤航空學校の波多野砲兵中尉は東上等兵を同乘せしめ途中各務ケ原でガソリンを補充して午後一時十五分大阪城東練兵場に到着した、直ちに第四師團司令部に赴き東京附近大震災の報告をなし師團長を官舍に訪問陸軍麵麭十萬貫、米千

天機並に御機嫌奉伺

日光田母澤御別邸御滯在中の兩陛下に對し震災につき謹んで天機並に御機嫌を伺ひ奉る、攝政宮殿下御異狀あらせられず御機嫌よろしく御取計ひを乞ふ(宮内大臣、東宮大夫より伊藤長官宛)

沼津驛以西は

三日中に全通

沼津驛以西の上下り線は三日全通の見込で高架線驛より各列車を臨時運轉することなつた(名古屋電話)

今回震災を傳達した

機上より火災を見る

又同中尉が齎した陸軍大臣より第四師團長に對する東京方面の狀況報告書は次の通りである

傷斃多なるも調査未了なり

二、震害と同時に市内各所に火災起り神田區、日本橋區、京橋區、淺草區、下谷區方面特に甚しく尚延燒しつゝあり

三、主要官廳にして既に燒失せるもの内務省、大藏省、文部省、帝室林野管理局、衛生材料廠、造兵廠、東京工廠の大部等なり

四、目下在京各部隊を以て市内の警備に任じつゝある外、國府臺、習志野、松戸及び千葉の各部隊をも逐次東京に招致しつゝあり

五、陸軍各部隊は前項の如く市内の警備に任じつゝある外自動車隊、衛生隊等を以て一般罹災民に對し糧秣の分配、給水、傷病者の救護に關し全力を擧げて努力しつゝあり

横濱は燒けてる最中

二日午前八時半に所澤を出發し東京の上空は約千米の高度を以て飛行したのであるが、當時東京市内四五箇所は尚ほ盛んに燃え盛つてゐるのを見た、更に八王子市にも若干の火の燃えつゝあるのを見たが横濱市は今や盛んに燃えつゝあり黑煙濛々として天を掩ひ實に凄慘極まる光景を呈してゐた、横須賀市は家屋の大部分崩壞し市内には火を認めなかつたが海岸の造船所二、三箇所に黑煙の立ちのぼつてゐるのが見た更に小田原では夥しい家屋の崩壞してゐるのを見たが箱根以西沼津附近からは列車も運轉し常態に復してゐるもの、如く見うけられた云々

尚同中尉は午後四時半城東練兵場を發して名古屋ケ原に到り一泊三日所澤に歸隊の筈

有ゆるものは倒れた

壞れた、燒けた、死んだ

同驛して來た東摩生は東京地方の震災の狀態につき語つた

二日午前十一時ごろ凄しい時分震一回の揺が來てから次いで二回三回と連續的に激動を感じ間もなく細し地鳴あり氣味の悪い感じがしたが、次第に大震動をやつてゐること東京方面の空に當つて突然ものすさまじい火焔の上るのを眺めましたそれと前後して隊の無電に神奈川縣知事から全市倒壞死傷數十萬といふ受信がありそれで横濱と東京市街の震害の甚しいことを感じたわけです夜に入つてから東京の空は炎々天を焦すが如くに燃ゆるかの火の手が見ち軍隊は殆んど出動して霞ケ關を中心に宮城一帶の警戒の任に當ることになつたさうです自分は午後八時兵四十名を引率して麴町區へ出動しました、東京市へ足を入れたのは新宿からでその時は地上こそ龜裂を生じてゐなかつたが市電は全部軌道外に脱線し軌道の敷石は互に盛り上つて喰ひ違つてをり人々は街路に飛び出して避難しその間へは兩方から電柱が折れて重なり合ひ勿論それも電燈の故障から眞暗闇で實際維新前の暗夜を思はしました、その中に僅かに私達の持つた提燈の光と蠟燭の明りでこれだけの狀態を見る位のもので暗中に泣き叫ぶ老幼の聲はそれは悲慘なものでした火災は八方に起つて居り搖返しが依然激しく繰返すため私達でさへも歩行に困難を來して目的地の麴町三丁目までやつと辿り着きました、その頃は十時前後で淺草十二階は倒壞し六區の建物は全部焦土となり丸の内ビルヂングは燒けてゐなかつたが原形を止めない程破壞し、内外ビルヂングの如きは數階上から横樣に倒れてゐてこのビルヂング内で二百人の人が死んだとのことその殆んどは倒壞した煉瓦と煉瓦に挾まれて見るも無慙な狀態でした、宮城内には僅かに外堀に損傷あつた位でしたが赤坂から霞ケ關の各官廳宮邸は甚大な損害をうけてゐました、帝室林野局はすでにその時火災を起してゐました、今朝八時所澤を出發する時の情報は四谷と本郷の一部を殘す他全部は燒失したとかここで飛行機上から見た東京市街は尚ほ盛んに各所に猛火の荒れ狂うてゐるのを認めました横濱市街は殆んど何もかも殘さない荒野原の如く見下されま

機上より見た宮城は燒失を免れた

倘同中尉は從來の通り土岐大阪府知事に死亡者の知さ内務次官及び社會局長の傳聲を寄した

▲内務次官より　昨一日午前十一時五十八分頃地震あり火災各所に起り東京の大半殆ど烏有に歸し人畜の被害、財産の損害測るべからざるものあり非常に大規模の救護を要する見込みに付衛生材料、食糧等を多數に要すべきを以て貴管下に於て豫め準備、管地の救護に充つるやう訓令されたい倘貴官より附近地方長官にも此段傳へられたし此段傳へられたし此段の震源は東京より十數里の地點にある如し(後藤内務大臣)

▲社會局長より　無線電報地震に基く火災のため罹災者の數多くなるにつき從業員募集の件は見合はせ(社會局長)

名古屋師團へ投下した

飛行機の災害報告

宮城は燒失を免れた

各務ケ原飛行隊では天候不良のため出發を見合せ二日午後一時半に出發した飛行機は二日午後一時半に出發し東京方面の震災を視察し名古屋に歸着した、その報告によれば二日午後一時半出發した飛行機は二日午後一時半